



花騎士

隆

ち

触手

2

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

団長騎士サマの集い



お久しぶりです、Binoringです。
好評(?)につき触手堕ちがシリーズ
として「2」が作られてしまいました
とはいえ「EX」を挟んでの3冊目
になるのですが…。

1冊目でやや消化不良に終わってし
まった感もありましたので、個人的に
もう少し深掘り(意味深)したかった
ネムノキ様に白羽の矢が…。



毎度の事になるのですが、エッチ感
が少しでも表現できていれば嬉しい
限りです。

え？次回ですか？

…カラー原稿作るのが大変なんで、本
当にマジで今回でラストにして頂き
…うわ、なにをする、やめ……

イエローチューリップの
開発した薬によって
身体が触手になってしまった
団長だったが：

そこにミズウォルムが紛れ込んでおり
次々と花騎士たちを襲い始める
ネムノキは状況を理解しつつも触手の
責めに耐え切れず果ててしまう

性的な絶頂によって魔力を
吸収されてしまう
ネムノキには何度も耐えられる
余力は残されてはいなかった：





まどろみからの目覚めは
再びネムノキを快楽の淵へと
誘う……

こんな触手なんか
簡単に屈したりなんか
しません！

こんなことで…
快楽を感じちゃ…ダメ…

ギンギン

ぬるぅ…

ギンギン



しかし……

んらッ

んらッ

ぶるん

ぶる

触手は容赦なく
ネムノキが纏う
加護の服を……

切り裂いていく……

ずんま……

ヒク
ン

だ…ダメ…
こ、このままじゃ…

あ、ん、

うん、

うん、

うん、

うん、

触手は花騎士にとって最も大切な
魔力の根源たる秘部を狙う…

おっ

服が……

そ……そんな……わたくし……
またあなたに……

広げちゃ……ダメ……
大切なところが……
広がっちゃう……

ずん

ん

以前より強化された触手は
的確にネムノキの秘部を
露わにしていき……



再び触手の侵入を
許してしまう…

ヒッ
ッ
あッ



この感覚…

入って…



一度快感を覚えた身体は…
いとも簡単に侵入を許し…

すっ

んっ

すっ
すっ
すっ

以前よりも激しく…



触手から分泌される粘液には強力な催淫作用があり：
それは世界花の加護によって護られた花騎士といえども
免れることはできない：

それを敏感な膣部に注がれる…
急激に襲い来る快樂の波は
抗う理性をあっという間に
押し流してしまう：

花騎士の絶頂は…

だ

いく…いっちゃ…

花騎士の加護を一時的に喪失するため…
絶頂に際して無防備になった身体から
急激に魔力を吸い上げられる…

あーん

ビクン

強く締め付けられた触手から…

トクン

びく

まっ

多くの触手が濃厚な魔力を求めて
更に集まってくる
絶え間なく魔力を吸収するために

イってるのに…
もっと気持ちよくなって…

ん、お、

さい
さい

触手からは吐き出される催淫液が
子宮奥深くに注がれる…
更なる快楽を引きずり出される

くしゃ
くしゃ

おっ
トオ



子宮から媚薬の効果は全身に廻り

触手を受け入れる準備が完了
あとは魔力を吸い続けられる

う…は。

あうっ

わたくし…気持ちよくなつて…

ま…またおくと出たれ…

そ…そこ…

ダメな所おつ

ズン

ギョー

スッ

はー



あう……くう……
この感覚……
またすぐに……

はぁい



ふっ

ふっ……

それに胸まで触手で触られたら……
……ああ……もうイきそうになってる……



感じちゃ……う

はぁい

びゅ

はぁい



あ、♡

あ、♡

あ、♡

はぁい

膣が締めまり、触手の動きが
更に激しくなる

ツラうう…ダメツ

ずる…

振りほどけ
ないッ

ムッ

イ、イったばっかなのにッ
ああッ

ズン

ムッ

あう

バッ

やあ

またこんな
は、はげしいのッ



媚薬の効果と絶え間ない抽挿は
ネムノキを快楽の高みへと誘う

理性では必死に
抵抗を試みるが…

触手の執拗な刺激には抗うことは敵わず
大きく…深く訪れる快楽の波に襲われ
敢え無く2回目の絶頂を迎える…

あぁ

ビロロロロ
キュン

キュン

ぴゅっ
ぴゅっ

魔力吸収の苦痛は
流れ込む快楽に
かき消される

何もできずに……
またイっちゃった……

はーっ

まっん
ズン

ズン

ぬ

触手はさらに
貪るように食らいつき
魔力を吸い上げる

ニギヤ
ニギヤ



イ……イくう……っ
イって……る……

あうっ

また中に出され……
お腹溶ける……っ

気持ちいいのが……
止まらないっ

はー

あうっ

んっ……
んっ……

いっ

あうっ……



小刻みに訪れる小さな絶頂では
世界花の加護は喪われぬ

15

にやにや

だっしゅっ

夢



お!

ん

はっはっは

ズッパッ

トクッ

ビッ

ズッパッ

頭の中が気持ちいいので
いっぱいになってくるう…

あっ

ズッ

ぬりゅ♡

もうダメ…イク…イっちゃ…

あーん

ミッ

ズッ
ズッ
ズッ♡

これ以上魔力を吸われたら…
加護の力が…

んっ

んっ
んっ
んっ

触手のピストン運動が
ネムノキを3回目の絶頂に誘う
深い絶頂により世界花の加護は
喪失してしまう…

ドクン

ヒビク
ン

ああ

絶頂(深)

あ
はは



世界花の加護を喪った花騎士は
苗床としてその身体を利用され
自我を失うほどの快楽に墮とさ
れていく…

チカッ
チカッ

あーん♡

グググググ

びゅん♡♡♡

ドクリ

あ

ド

あ

ず

ず

ん

既に苦痛はなく、
触手を伴侶と認識し、
孕み、産み落とす

おっ

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

団長どのお...



んあああああ…
団長どのお…

♡♡♡

秘部より溢れる粘液に
快感を感じながら、
ネムノキの意識は途絶えた

てっぺん
てっぺん

どろろ



大丈夫ですか？
団長殿？

団長殿！

すごい汗ですよ
団長ど…の…？



悪い夢でも見たの
でしょうか？

ネムノキの右手は
自身の股を押さえ
ていたが…
足の間に伝って
こぼれる白い液体
は何だったの
だろう……





花騎士触手墮ち 2

発行日 : 2025年10月4日

発行者 : Binoring(@yhibiyan)

mail : nukoconference@gmail.com

印刷所 : 株式会社グラフィック

※本作品の無断複製、複写、web上への
アップロードを禁じます。

こんな本作っちゃって、私…ネムノキ団長に怒られませんかね…？



団長騎士サマの集い